

# ikecO

2021  
Vol.36

“住む人が主役の家づくり”に、もっとファンを！



性能にこだわった建材店の  
モデルハウス

未来を見据えて高性能と住み心地を追求する  
地域工務店を支える建材店の熱い思い

ウッドライフ モデルハウス『すごもり』



株式会社 ウッドライフ

太田信之社長に聞く、

未来を見据えた家づくり



知多半島で工務店・大工のトータルプロデュースをする  
建築資材、建材販売会社

<https://woodlife-eco.co.jp/>

2008年の創業以来アイデアと行動力で地域工務店を支えてきた愛知県常滑市の建材販売店ウッドライフの太田信之社長。次世代省エネ基準によって求められる性能を余力を持ってクリアしながら差別化にもなる断熱材として木繊維断熱材シュタイコに着目。2018年にドイツで行われたシュタイコの施工研修に参加して国内での販売に先駆けて取り扱いを開始した。

コロナウィルスの感染拡大で工務店の営業活動が制限される事を予見して性能と素材にこだわったモデルハウス『すごもり』を2021年4月にオープン。

UA値 $0.37\text{W}/\text{m}^2\text{K}$ でC値は $0.49\text{cm}^3/\text{m}^3$ HEAT20・G2の基準を上回る性能が地域工務店の物差しとなることを願って建てられたモデルハウス。バーベキューが楽しめるナチュラルガーデン、耐震のコーチパネル、断熱材にドイツ製木繊維断熱材シュタイコを使用。内装にも外装にも透湿する建材を選び、自然素材を使った高性能で快適な住まいづくりを提案している。







## コロナ禍に10年先を見る

「2030年を目途に年間の住宅着工数が60万戸台になると予想される中、今年はコロナウイルス感染拡大の影響によって70万戸割るのではないかとされていますが、このことをラッキーな側面もあるのではと捉えています。本来ならば10年後に起きることを先に体験することで、私たち建築に携わる人や企業のこの先あるべき姿が見えるわけですから。自分の会社に何が足りていて、何が足りないのかを見極めて準備ができる。何が起こるか分からないという危機感を持って色々なことにアンテナを張って取り組んでいける、とプラス思考で考えています。」

ウッドショックで材木が不足する中でもウッドライフには優先的に材木が供給され、普段から仕入れ先との付き合いを大切にしてきたこれまでの考え方が間違っていなかった事を実感することができた。

## 未来を見据えて高性能と住み心地を追求する

「次世代省エネ基準の義務化は先送りになっていますが、国の政策として住宅の性能を上げていくのは必須になりますし、早く住宅の高性能化に取り組むことが生き残る秘訣なのではないかと考えています。ただ、工務店さんには『シュタイコを使ったから受注が上がるというわけではありません。』と話しています。」

性能を高めるだけで受注できる時代ではなくなっている、と語る太田社長。「トータルでこういう家づくりをしていきたいという熱い思いで、方向性を決めたらやり続ける。やりきることによってそれが地域のブランドに変わっていく、という家づくりを工務店さんと一緒に取り組んでいきたいのです。」

## 木繊維断熱材シュタイコが 差別化の武器

シュタイコのことを知った当初はまだサンプルもない状態だったが、すぐにやると決めた。木の断熱材を使うのはログハウスを作るようなものだというイメージが頭の中に広がり、木をふんだんに使った家づくりをしている工務店に木の断熱材はととも相性が良いのではと単純に思ったという太田社長。前述の通り、次世代省エネ基準が義務化になった時にも、差別化の一つの武器になると考えている。5年後には木繊維断熱材がスタンダードになるとビジョンは明確だ。



2018年ドイツ・シュタイコでの施工研修に参加したウッドライフの太田社長



コストについては、次世代省エネ基準義務化がポイント。今までの断熱材であるウレタンフォームやグラスウール、羊毛等ではUA値が物差しになっている。長期優良住宅なら0.87W/m<sup>2</sup>K、ZEHなら0.60W/m<sup>2</sup>Kで断熱とサッシの性能によってクリアできるが、他社が厚さ60mmのウレタンフォームでクリアしていたら、競合先に負けまいというウレタンフォーム70mmに、80mmに・・・ではイニシャルコストが上がるばかりで、差別化は図れない。そこで木繊維断熱材が打開策になると太田社長は工務店に訴えている。今はまだ誰もが使えないわけではない木繊維断熱材を採用する事で、オンリーワンになることができる。断熱性能を重視してシュタイコを使い続けられる工務店が、地域で信頼され生き残っていくと確信している。



## シュタイコを取り扱うことで見えてくる課題

比重が高いため夏の断熱効果も遮音効果も抜群のシュタイコだが付加断熱まで採用するとコストがかかるので、これをどう解決していくかが今後の課題。断熱だけではなく、気密を取るためにウルト社の副資材※を押さえるべきところにきちっと施工することができているかどうかも重要だ。副資材を使って初めて断熱材のパフォーマンスが発揮できるので、これはセットで考える必要がある。気密は取りながら透湿されるものはしっかり透湿させて、湿気が逃げられる環境にする。いかにしっかり箱を作るかが、木繊維断熱材採用の肝となる。

## 伝えにくい性能をモデルハウスで体感

「湿度のコントロールと空気感が今までの断熱材と比べて全然違い、ムツとした感覚やじめじめした湿気を感じにくくシュタイコの実感しています。」来場者からの感想も『屋内に入った瞬間に空気の違いを感じられる』と目に見えない違いを体感できているようだ。また、室内の静かさに驚きの声が多く聞かれ、断熱材の中でも比重の大きいシュタイコプロテクトならではの効果が見られる。

一冬を越して、乾燥も気にならず冬の寒さ対策には十分な効果を発揮することも確認できた。夏にはエアコン1台で全室温度差のない室内で、ひとりでも多くの方に断熱材の重要性を体感してもらいたい。



こだわりの性能と外構デザインが魅力の  
ウッドライフモデルハウス  
『すごもり』

断熱材	シュタイコ プロテクト (外壁付加) 60mm
	シュタイコ フレックス (内壁充填)100mm (屋根充填)200mm
外壁	カルクファサード
内装	オガファーザー・デュプロン
床	バイン材・リボス アルドボス
ウッドデッキ	リボス タヤ/ウォルナット

※ウルト社の副資材

気密を確保するドイツ・ウルト社製の副資材。夏型結露対策に有効な可変調湿気密シート、重大な欠損になりうる窓と躯体のジョイントとして、貼ってから膨張するVKPテープと弾性ウレタンフォーム等





30年間ご愛顧



ありがとうございます

30周年記念動画公開中



# バウビオロジー講座特別編 「創業者 池田嘉次との出会い」



1997年夏の運命的な出会いをきっかけに3年かけて翻訳、出版した書籍「健康な住まいへの道」(ホルガーケーニッヒ著) 発刊までの秘話。エコバウ建築ツアー、セミナー等活動を通して感じたイケダコーポレーション先代社長池田嘉次の思いを語っていただきました。



石川恒夫氏 / 前橋工科大学大学院教授

日本バウビオロジー研究会代表

1962年東京生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了。1991~93年ミュンヘン工科大学(ドイツ学術交流会奨学会による研究留学) 1997年前橋工科大学建築学科専任講師。2012年より同大学教授。専門は建築論、建築意匠。博士(工学)。一級建築士。Baubiology IBN (Germany)。作品に八幡幼稚園(2011、第7回木の建築賞大賞)、通り土間をもつ家(S邸)(2017、第5回埼玉県環境住宅賞審査委員長特別賞)など



今回の特集

## YouTube動画「夏の断熱工法シュタイコ」

ウッドライフ モデルハウス実際の施工現場で録画したシュタイコプロテクト施工のポイント解説をイケダコーポレーションYouTubeチャンネルでご覧いただけます。



## シュタイコがマンガでわかる!

今までの断熱材と木繊維断熱材の違いをわかりやすいマンガで解説。ご家族皆様が納得してお選びいただけます。



## 公共建築講座 **受講無料・要申込**

中大規模木造 入門編  
公共建築講座  
「木造建築の未来」in仙台



講師: 武田光史氏(アルセッド建築研究所)

8/27(金)14:00~17:00

会場: トレンドビル (仙台市地下鉄広瀬通駅徒歩4分)

**オンラインセミナー**  
魅力的な木造建築構造設計セミナー  
中大規模木造編  
講師: 坂田涼太郎氏 9/10(金)13:30~15:00

## 住まいと暮らしのセミナー

しあわせをつくる 健康×住まいる講座

～自然素材がもたらす健康への影響～

講師: 有限会社加藤木材 加藤政実氏

第1弾 七転び八起きの日 **終了**  
7/8(木) 『住環境によるからだところの異変』

第2弾 ごみの日  
9/28(火) 『床・壁が変われば人生が変わる』

第3弾 地球感謝の日  
12/9(木) 『しあわせをつくるために』

杉を専門に取り扱う加藤さんとの対談形式で自然と人のつながりを考えるセミナーです。

## 仙台オフィス リニューアル

内装にカルクウォールを塗って、小さいながらも素晴らしい空間に仕上がりました。素材に触れて質感を楽しんだいただけるショールームです。皆さんのお越しをお待ちしております。

仙台オフィス 田中 亮



〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通2-1-7(古川駅徒歩5分) TEL 0229-87-4435 FAX 0229-87-4436

## 断熱セミナー・シュタイコ製品セミナー 定期開催中!

各種セミナー情報はイケダコーポレーションのホームページをご覧ください。



雑誌掲載

2021年5月1日発売の  
「夢の丸太小屋に暮らす  
kinohús[キノハス]VOL.4」

## 2022 カレンダーの施工写真募集!!

イケダコーポレーションの  
オリジナルカレンダーに掲載する  
施工写真を募集しています。

A2サイズ

弊社の商材を  
ご採用いただいた施工写真  
(2020年~2021年)



**Ikeda**  
CORPORATION

ひとと環境にやさしい住まいづくり  
株式会社イケダコーポレーション

ご注文・カタログのダウンロードはWEBから

